

らぶらす

ライブラリーニュース Vol.39

春号

2023.3

ジェンダーについて〇〇といっしょに考えよう！

SDGsやジェンダーという言葉を見かける機会が多くなってきました。世田谷ではSDGsのカラフルなイメージでパッケージされた電車を見かけることも。17のゴール（目標）を掲げたSDGsは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略です。なかでも目標5「ジェンダー平等を実現しよう」は、SDGs前文に「すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性のエンパワーメントを達成することを旨とする」とあるとおり、SDGs全体の目的でもあります。今号は、さまざまなテーマをジェンダーの視点から捉える特集記事を集めて紹介します。ジェンダーについてらぶらすでいっしょに考えましょう。



「みんなで目指す！
SDGs × ジェンダー平等」
男女共同参画推進連携会議
事務局：内閣府男女共同参画局

特集「コロナ禍とジェンダー」

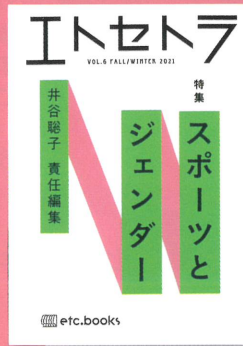
『年報政治学』2022-1
日本政治学会編 筑摩書房



「コロナ禍が社会の最も脆弱な層に打撃を与え」る中、最も支援を必要とする人に支援が届かない「矛盾」に目を向けた。ジェンダー視点に基づいた政治学が、不可視化されたケアに依存する「自立/自律した人間像」など、将来において検証すべき論点を示す。[311.0]

特集「スポーツとジェンダー」

『エトセトラ』VOL.6 2022年
エトセトラブックス



スポーツは、男女には差異があり女性は劣っている、というジェンダーイデオロギーの強化に利用される一面があるが、「こうでない体育やスポーツは可能はずだ」。『〈体育会系女子〉のポリティクス』(780.11)の著者、井谷聡子責任編集による特集号。[367.1]

特集「図書館とジェンダー」

『LRG(ライブラリー・リソース・ガイド)』
第40号 2022年夏号
アカデミック・リソース・ガイド



知の集積地である図書館で、女性問題の分類番号は367.2だ。しかしあらゆる分野にジェンダー問題の資料が存在する可能性がある。婦人閲覧室の存廃から非正規雇用司書のジェンダー化問題まで、図書館とジェンダーのかかわりが次々見えてくる特集号。

「ジェンダー」に関する特集・雑誌



「パートナーシップのシン・常識」
『FQ JAPAN』
2022年秋号
アクセスインターナショナル



「性教育の現在地性とジェンダー」
『AERA』
2023年
1月30日号
朝日新聞社



「ローカルヒーロー、ローカルヒロイン U30図鑑」
『ソトコト』
No.266 2023年1月号
ソトコト・プラネット



「インターネットとフェミニズム 私たちの空間を守る」
『シモーヌ』
VOL.6 2022年
現代書館

行政資料コーナー



世田谷区の「基本構想」や男女共同参画に関わる「計画」や「報告書」等の行政資料があります。全国の男女共同参画センターの広報誌も多数。

らぶらす資料コーナー（ライブラリー）利用案内

◆らぶらす資料コーナーでは、およそ2万1千冊の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。◆運転免許証や健康保険証など、住所とお名前の確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用者登録ができます。◆1回につき3点まで、2週間の貸出が可能です(AV資料1週間まで)。◆貸出中の場合は予約ができます。◆図書資料はらぶらすのホームページから検索可能です。

開館時間	9:00-22:00	毎月第3月曜日(祝日)の場合はその翌日)及び年末年始
貸出時間	9:00-21:30	

※開館時間に変更になる場合があります。ホームページ等でご確認ください。



くつをぬいで過ごせます

♪らぶらす 子どもスペース♪

3階の情報・交流コーナーに

絵本や紙しばいが約800点

読み聞かせに

ちょっとひと休みに

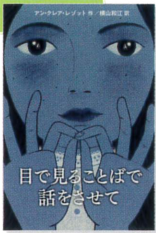
お子さんと一緒にご利用ください



紙しばいもたくさん

新着図書から

『目で見ることばで話をさせて』



アン・クレア・レゾット 作
岩波書店

ろう者も聴者も手話で会話をしていた、かつてアメリカに実在した小さな島のミステリー。ある日、この島に難聴者が多い原因をつきとめようと学者がやってきて事件が起きる。主人公の少女が無理矢理連れて行かれた別の世界で知った、障害、人種に対する差別、偏見の現実。少女の成長を通して「偏見」の裏表を描いた作品。[933.7 ㊦]

『わたしの心と体を守る本』



遠見 才希子 著
KADOKAWA

思春期を迎える女の子の、性に対する不安や疑問を子ども目線で考える。心とからだの変化からジェンダー平等、ネットリテラシーまで、心と体のことを知って自分や自分以外の人を大切にすることをわかりやすくポジティブに学べる。性に対して適切に話せない親に伝えたいことを、経験豊かな産婦人科医がまとめた。[367.9I]

『障害者ってだれのこと?』



荒井 裕樹 著
平凡社

障害者ってだれのこと?という質問に、これまでは「何かができない人」だという障害者イメージがある。しかし実際には、「できる」と「できない」は環境、条件、体調、社会的障壁等によってはっきり分けられない。タイトルの問いに対して、できたりできなかったり、とらえどころのない問題こそ考え続けることが大切、と伝える。[369.2 ㊦]

『少女が見た1945年のベルリン』



クラウス・コルドン原作
パンローリング

第二次世界大戦禍の1945年春のベルリンは、連合国軍が最後の空襲を行い、地上ではソビエト連邦の赤軍が迫っていた。本書はこの街で暮らす12歳の少女エネの目線で、爆撃により廃墟と化したベルリンで極限の恐怖を強いられながらも、平和を待ち望む人々が市街戦を生き延びた様子が語られるグラフィックノベル。[726.1 ㊦]

『戦争をやめた人たち』



鈴木 まもる 文・絵
あすなろ書房

1914年クリスマスの夜、イギリス軍とドイツ軍がクリスマスの歌で心を通よわせ、サッカーをはじめた、という実話に基づく。兵士たちはこの後、命令されても空に向かって銃を撃ち、攻撃作戦があるときは相手に気をつけるよう知らせたという。ロシアによるウクライナ侵攻のおり、戦争をやめることができるのも人である、との思いを込めた一冊。[E ㊦]

『ハートストッパー』



アリス・オズマン 著
トゥーヴァージンズ

イギリスの男子校に通うチャーリーとニックのエピソードを軸にした青春ボーイズラブストーリー。ゲイやレスビアン、トランスジェンダーのキャラクターが多数登場、違いを認め合える友人や家族の存在と同時に、学校や家庭内にも存在する偏見や無理解も描かれる。最新第5巻の発行が待たれる。[726.1 ㊦]

